

<p>【都市経営研究科提供科目】 事業戦略論 Business Strategy</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣</p>	
<p>アントレプレナーシップ研究分野 中核科目 ≪2013年度以前入学生は アントレプレナーシップ研究分野 探究科目≫</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>1 単位</p>	<p>2018 年度・前期</p>
<p>I 科目の主題 本科目では、Five-Forces、価値連鎖、競争ポジショニング、PPM など経営戦略の基本ツールについて、その理論的背景と実際の使用方法について学習することを目的とする。これらの概念は当初、経営企画部門を初めとする本社スタッフや戦略系コンサルタントを中心に活用されてきたが、経営の高度化が求められる今日、ベンチャー企業や中小企業の現場においても理解・運用が求められている。本科目の前半では、経営戦略の基本理論について講義を行い、後半では、ケーススタディーを通じて経営戦略ツールを用いた分析を行っていく。</p>		
<p>II 授業の到達目標 本講義では、事業戦略の理論と背景、さらに実践への適用方法を理解することを目標とする。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 イン트로ダクション 第2回 経営戦略とは何か 第3回 経営環境分析 第4回 多角化と企業ドメイン 第5回 プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント 第6回 ケース1：PPM分析 第7回 競争ポジショニング戦略 第8回 ケース2：競争ポジショニング分析 第9回 3つの基本戦略と価値連鎖 第10回 マーケティング戦略 第11回 ケース3：セグメンテーションとマーケティングミックス 第12回 ケース4：戦略分析に関するケーススタディー1 第13回 ケース5：戦略分析に関するケーススタディー2 第14回 ケース6：戦略分析に関するケーススタディー3 第15回 ディスカッション 		
<p>IV 事前・事後の学習内容 授業で示される課題を行うほか、各回のテーマについて、日々の実務の視点から考える、関連書籍を読むなど、理解を深めるよう努力することが望ましい。</p>		
<p>V 評価方法 宿題及び課題 70 点、授業での発言 30 点 合計 100 点により評価を行う。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント ケース1～6では資料を事前に読み、解答を作成することが求められる。また授業では積極的な発言が求められる。</p>		
<p>VII 教材 【教科書】『アントレプレナーの戦略論』 新藤晴臣[著] 中央経済社 2015年</p>		